

牛久：学校周辺に見る自然

第37号 稲敷市(牛久市との境界付近)

2010年9月26日発行

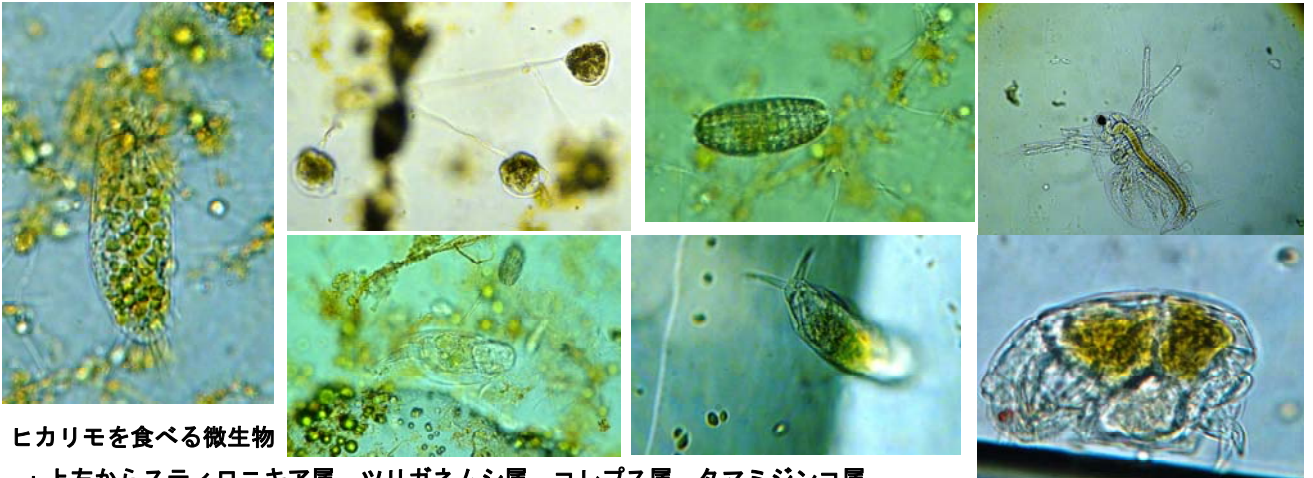
<ヒカリモ再出現！>

第21号でお知らせした、稲敷市でのヒカリモ発見の続報です。



大雨の後、ずっと姿を見せていなかったヒカリモですが、9/14(火)、前回より量は少ないですが、再び池の表面に膜をはっているのを見つけました。猛暑と少雨でしばらく池の水がほとんど涸れてしまった状態でしたが、その後、数日雨が続き、また水が増えてきたこの日のことでした。

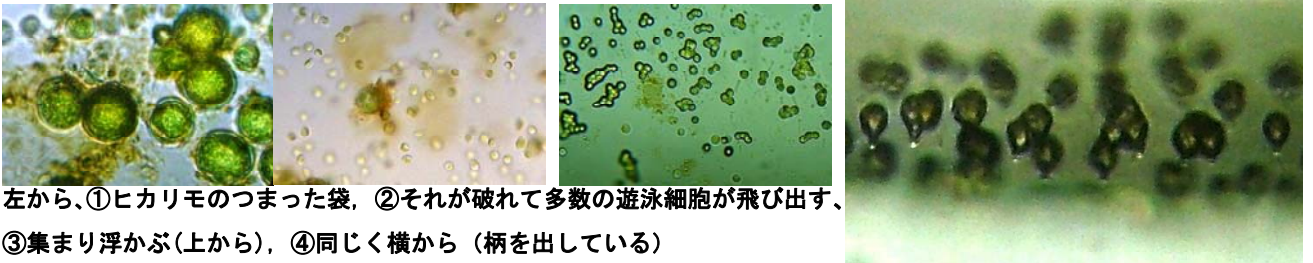
池の縁の方にたまっているのは前回と同く黄色に輝いていましたが、中央を中心に広がっているのは黄緑がかって見えました。ヒカリモがいたことを知らなかったら、おそらくそのまま通り過ぎていたでしょう。けっこう、このように「いるんだけど見えてない」ということがあるかもしれませんね。



ヒカリモを食べる微生物

：上左からスティロニキア属，ツリガネムシ属，コレプス属，タマミジンコ属、
下左からウサギワムシ属，カシラワムシ属，サヤガタワムシ属

前回の失敗をいかし、今回は忘れずに採水して帰り、その日のうちに顕微鏡で観察しました。ヒカリモの他にも、ワムシやゾウリムシ、ミジンコの仲間などそれを食べて生きている微生物や、クンショウモ、ミドリムシの仲間などいろいろな種類が見られました。



左から、①ヒカリモのつまった袋、②それが破れて多数の遊泳細胞が飛び出す、
③集まり浮かぶ(上から)、④同じく横から(柄を出している)

ちょっと工夫して、水面に浮かんでいるのと同じく柄を出している状態も観察できました。ヒカリモについては分類もはっきりしていなくて、日本各地のも肉眼での様子から「ヒカリモ」といわれているだけで、種名まではっきり分かっているのはいくらかないそうです。ヒカリモがどういう生活をしているのか私自身よく分かっていないので、それらのことについてはもう少し勉強してから紹介したいと思います。とりあえず再出現のご報告です。なお、池の水質について茨城県自然博物館の先生にお願いしてありますので、結果が出たらあわせて報告したいと思います。 【理科支援員・宮内】